

## 2020 年度実施概要

学校名

与論町立与論小学校

採択活動名

ユンヌの海から世界へ

実施単元の例

単元名	学年	教科
1. 「与論の水」	4 年生	総合的な学習の時間
2. 「着衣水泳」	全学年	体育
3. 「サンゴ増殖活動」	5 年生	総合的な学習の時間

取り組みの概要

## 1 はじめに

与論小学校では、総合的な学習の時間を中心に、海と人の関係について理解を深めるとともに、その海の保全を図りつつ、国際的な理解に立った平和的かつ持続可能な海洋の開発と利用を可能とする知識、技能、思考力、判断力、表現力を有する人材の育成を目指し、海洋教育に取り組んでいる。この目的を達成するために、海を知り、海に親しみ、海を守り、海を利用する学習を推進する取組を行うことにした。

## 2 海洋教育の実践例

## (1) ふるさと探検（4年生：総合的な学習の時間「与論の水」）

総合的な学習の時間で、4年生は「与論の水」という学習を通して、与論町の生活水はどのような仕組みで送られてきているのかを学習している。2学期にふるさと探検の校外学習で、与論町の浄水場の見学に行き、教えていただいたことをまとめる学習を行った。与論で使われている水が、どのような方法できれいにされているか、使われた後はどのように処理されているかなどを知ることができた。



## (2) 着衣水泳

プール学習の一環として、毎年B & Gの方に来ていただいて全学年に着衣水泳の学習を行っている。海や川で事故等に遭った時の助かる方法や救助の仕方などについて教えていただいた。また、海にいる危険な生き物についても教えてもらい、子供たちの海に対する興味・関心も高めることができています。



## (3) サンゴの生態、種類等についての説明

12月12日（土）に、与論町漁業協同組合の方の協力のもと、5年児童がサンゴの増殖実験体験活動を行った。鹿児島大学の先生方にサンゴの生態や種類、海洋ゴミや漂流物などのお話を聞かせていただいた。その後は、サンゴの植え付けを体験し、実際にサンゴに触れることを通して、海洋教育をさらに身近に感じることができた。与論島のきれいな海をこれからも大切にしていきたいという姿が見られた。



## 3 おわりに

これからも、海洋教育の地域サポーターの方々と一緒に海洋教育に取り組み、子供たちが海のことを身近に感じ、考える機会を増やしていきたい。3月には、学校行事として思い出遠足があり、赤崎公園（赤崎海岸）に行く予定である。最後には、海岸のゴミ拾いなどの清掃活動も計画している。海に近い場所での行事や清掃活動を通して、海のことについて考える機会を設けている。